



平成28年3月28日

各位

会社名 東邦化学工業株式会社
代表者 代表取締役社長 中崎 龍雄
(コード：4409、東証第2部)
問合せ先 常務取締役経理本部長 井上 豊
(TEL. 03-5550-3735)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社の平成28年3月期通期決算において、下記の通り、関係会社出資金評価損及び退職給付費用が発生し、特別損失に計上する見込みとなりましたのでお知らせします。

なお、損失額はあくまで現時点の概算であり、今後の決算手続きにより変動する可能性があります。

よって、平成28年3月期の業績予想については、同損失額を精査のうえ、金額が確定次第速やかにお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

(1) 関係会社出資金評価損発生見込について

当社の連結子会社である東邦化学(上海)有限公司(以下、「同社」という。)は、会社設立から中国当局の生産開始の認可取得まで当初計画より2年程遅れ、さらに、生産開始後も主要製品のユーザーの認証取得遅れなどによる販売の低迷及び中国経済の減速の影響も相俟って、赤字幅が大幅に拡大した経緯にあります。

この結果、当社の平成28年3月期通期の個別決算において、同社の2015年12月末の純資産額が、当社の出資金の帳簿価格と比較して著しく低下していると認められることから、関係会社出資金評価損を特別損失に計上するものであります。

(2) 退職給付費用発生見込について

当社及び連結子会社1社が加入しております日本界面活性剤工業厚生年金基金は、平成27年2月20日に開催された代議員会で、同基金の解散方針を決議し、正式な解散決定を平成28年10月頃に予定しております。

これに伴い、当社及び連結子会社1社は、同基金の解散を見込み、基金独自の加算年金部分を退職一時金として支給すべく、当社及び連結子会社1社の退職手当規程の改訂を行い、平成28年4月1日より実施する予定であります。

この結果、本退職手当規程の改訂に伴う一時的な退職給付費用を特別損失に計上するものであります。

2. 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成28年3月期において、下記のとおり関係会社出資金評価損及び退職給付費用を特別損失として計上する見込みです。なお、当該関係会社出資金評価損は、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

〈個別〉

関係会社出資金評価損	12億50百万円(概算)
退職給付費用	5億40百万円(概算)

〈連結〉

退職給付費用	5億80百万円(概算)
--------	-------------

以上